



会 長 本多 勝也 副会長 渡辺 正弘 クラブ会報 穴戸 光英
会長エレクト 齋藤 敏夫 幹 事 大坪 清悟

会長あいさつ

会長 本多 勝也



みなさん、こんにちは。

12月8日に会長幹事会が開催されましたのでご報告します。

2024年2月11日にふくしん夢の音楽堂大ホールで「古閑裕和のまち・音楽の祭典:社歌、等」が開催され、オーケストラをバックにロータリーソングを合唱するためロータリアンの有志を募集しますので参加のご協力を宜しくお願いします。

協議事項は、今後の分区事業の日程が確定しました。

- ①2024年1月13日(土) 青少年会議 (ホスト:福島中央RC)
- ②2024年2月10日(土) 次年度幹事セミナー (ホスト:福島南RC)
- ③2024年3月16日(土) IMインターシティミーティング (ホスト:二本松RC)
- ④2024年4月13日(土) 新会員セミナー (ホスト:福島RC)
- ⑤2024年4月20日(土) 県北第一分区親善ゴルフ大会 (ホスト:福島西RC)
- ⑥2024年6月1日(土) 県北第一分区RC会員大交流会 (ホスト:二本松あだたらRC)

各クラブからの連絡事項(会員増強状況含む)の報告がありました。

- ①2023年12月10日(日) 福島21RC 福島県学生親善囲碁大会
- ②2024年1月29日(月) 福島西RC 創立40周年記念式典・祝賀会
- ③2024年3月6日(水) 福島南RC 台湾各地RC来訪対応の件

福島21RCとの合同例会が3月か4月に開催予定です。

来週は、今年最後の例会で「家族お楽しみ会」がありますので、皆さんご出席宜しくお願いします。

本日は、秋山会員の「会員スピーチ」となっております。秋山会員宜しくお願いします。

歳末助け合い義援金贈呈



12月15日(金)
会長/本多勝也、社協に於いて

12月お誕生日おめでとうございます



出川正人会員・佐藤壮一郎会員
金田君子会員(ご主人様・奥様)

本日のプログラム

会員スピーチ／秋山和久会員

12・1月のプログラム

- 第1374回例会: 12月14日(木) / 会員スピーチ 秋山和久会員
- 第1375回例会: 12月21日(木) / 年忘れ家族お楽しみ会「あづま館」
- 12月28日(木) / 休 会
- 1月4日(木) / 休 会
- 1月11日(木) / 休 会
- 第1376回例会: 1月18日(木) / 新年会(二本松RC合同)
- 第1377回例会: 1月25日(木) / クラブ協議会・第7回理事会

幹事報告

県北第一分区 青少年会議開催のご案内

- ◆日時/令和6年1月13日(土)
- ◆ホストクラブ/福島中央ロータリークラブ
- ※後日、詳細ご案内いたします。

●国際ロータリークラブ会長
ゴードンR・マッキナリー(スコットランド)

●国際ロータリー第2530地区ガバナー
右近 八郎(福島ロータリークラブ)

●県北第一分区ガバナー補佐
安部 敏弘(二本松あだたらロータリークラブ)

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 一、真実かどうか
 - 二、みんなに公平か
 - 三、好意と友情を深めるか
 - 四、みんなの為になるかどうか

創 立 1993.6.30
 承 認 1993.9.10
 認証状伝達式 1993.11.8
 地 区 番 号 2530
 クラブ番号 29750
 例 会 日 毎週木曜日(12:30~13:30)

例 会 場 二本松商工会議所
 事 務 局 〒964-8577
 福島県二本松市本町 1-60-1
 二本松商工会議所
 Tel0243-23-3211
 Fax0243-23-6677

インドネシア訪問について

会員スピーチ／秋山和久会員

2012年6月16日(土)～23日(土)

1996年から15年間奨学金継続

二本松あだたらロータリークラブでは副会長柳沼英雄、国際奉仕副委員長秋山和久、ロータリー財団委員長菊地久子の3名が平成24年6月16日～23日国際交流支援の為にインドネシア訪問に行ってきました。当クラブでは15年間に渡り、JICA（青年海外協力隊）のエディザル先生を介してインドネシアの子供達5人に、奨学金支援を行ってきました。



16年目にして、初めて念願であった支援先カユパック村「第7小学校」訪問しました。バリ、ジャカルタ経由でパダン空港に入り、整備されていない道路、片道4時間かけて子供達に段ボール6箱に学用品、楽器リコーダー、縄跳び、サッカーボール、Tシャツ、飴など沢山のお土産を持って訪問しました。

学校側では奨学金（給費生）で教員になった「イラワティ」と、校長先生はじめ全校生徒200人の子供達が首を長くして待っていてくれました。早速子どもたちはプレゼントされた新品の5個のサッカーボールを蹴って、目をキラキラ輝かせて、大喜びでした。（学校にボロボロのボールしかない）

私たちは5人の奨学金一人一人全員に会いました。教員になられた「イラワティ」さんは、菊地久子さんに「亡くなったお母さん」の様に想えますと、抱き合い涙ぐむ姿には、関係者全員涙を誘い感動致しました。次にエディザルさんの元お母さんが校長先生をしていた、パダンの小学生の中で1番成績の良い、パダンパシル「第5小学校」教員12名、生徒数188名を訪問致しました。この訪問の様子は地元新聞に掲載紹介されました。（突然の訪問に大歓迎を受けました）

予てよりインドネシア訪問に際して、柳沼英雄副会長がバリ島「サヌールロータリークラブ」会員数34名と、大変な思いで連絡を取りながら「例会場」訪問をする事ができました。インド舞踊ダンサー2名を含む本格的な民族舞踊団で、盛大な歓迎のもてなしをしていただきました。私たちは会津伝統の「漆塗りお盆」と会員の方々全員に塗り箸をプレゼントさせていただきました。

柳沼副会長と「ス会長」「パスト会長クトウットウ」氏の挨拶の後、バナー交換と記念品の授与などを行い一生忘れる事のできない思い出となりました。

初めての体験でしたが、ロータリークラブのメンバーは正にインターナショナルだとつくづく感じました。ロータリアンである事に感謝して誇りとプライドを持って、今後更に国際奉仕活動を継続していかなくてはと、私たちは心に深く感じて帰ってきました。

最後に同行通訳をしてくださったJICAのエディザル先生と奥様の安達奈津子様、また当クラブメンバー全員の全面的バックアップに心から感謝致します。

パダンパシル第5小学校を日本のロータリークラブが訪問

パダン市、シンガラン

パダン西区のパダンパシル第5小学校を日本の二本松あだたらロータリークラブ（柳沼英雄団長）のメンバー3名が6月22日（金）に訪れた。数日前、ロータリークラブのメンバーが同小学校の三年生であるハナー・サアジダーの家での夕食に招待された時、彼女が自分の小学生を訪問して欲しいと話したのがきっかけでした。伝統的な食べ物を味わいながら、ミスナリティム校長と講師と懇談した後、三年生の教室で成績証の授与式に出席した。

柳沼さんは子供たちの前で、輝かしい未来を築くための勉強の大切さを話をした。「いつか皆さんが日本を訪れることを願っています」と言い加えると、皆が大拍手で応えた。柳沼さんに日本の歌を歌ってほしいとお願いした。彼らは二曲の歌を連続に歌って雰囲気が盛り上がった。

また、日本で仕事をしたことがあり、日本語がよく話せる一人の保護者にも会った。思いも寄らないことに、彼らは小学校のために百万ルピアの寄付を渡した。「私たちの校舎は地震であちこち壊れました。

保護者も修理のために積極的に援助をしてくれましたが、資金不足で多くの所は壊れたままです。

ロータリークラブからいただいた寄付金は校舎を修復するために活用したいと思います」とミスナリティム校長が述べた。ロータリークラブは1996年より西部マストラの子供たちに奨学金を与えている。

数日前、彼らは元給費生が教師として勤務しているアガム県パレンバヤン郡カユパサク村の第7小学校を訪問した。その時、彼らは文房具や縄跳びやサッカーボールなどの学校で使われる用具を寄付した。

小学校の近くにある村の人々も日本から持って来た洋服を沢山もらった。「環境があまり良くなくても、子供がいかに勉強の意欲が強いかわか実感できます」とメンバーの菊地さんが述べた。

ロータリークラブは1996年より西部マストラの子供に奨学金を与える他に、2004年の巨大な地震による被災者にも支援の手を差し伸べるなど、いろいろ援助をした。

ミナン族で日本でインドネシア語講師をしており、この団体の案内をしているエディザルは、あらゆるインドネシアと日本の関係がますます親密になりつつあることは、両国間の相互依存が強くなっている証拠だと述べた。以上、シンガラン新聞が受け取ったニュースである。

【シンガラン新聞、2012年6月25日】

